プラズマ物理工学

核融合を目指したプラズマの理論とシミュレーション



核融合プラズマ工学 核融合プラズマの解析

プラズマ応用 解析手法のプロセスプラズマへの応用

磁気閉じ込めプラズマ

- 直線型: ミラー配位, 逆転磁場配位
- ドーナツ型:トカマク配位、ヘリカル配位

ポロイダル磁場コイル



ITER (国際熱核融合実験炉)

- 国際協力による核融合開発
 (日、欧、米、露、中、韓、印)
- ITER機構が正式に発足
 核融合開発が新たな段階へ







日本国内の研究状況(JT-60SA)



日本国内の研究状況 (LHD)



核燃焼プラズマ



磁気閉じ込めプラズマにおける物理現象の解明と制御手法の開発

- 核融合プラズマ中の輸送現象
 - 核融合プラズマの閉じ込め性能を支配する 乱流輸送機構の解明
- 核燃焼プラズマの統合シミュレーション
 - ITERプラズマの性能予測、運転シナリオ
- 高速イオンとプラズマの相互作用
 - 高速イオンの閉じ込め、減速、不安定性励起
- 先進的閉じ込め配位
 - 優れた閉じ込め性能・安定性を備えた閉じ込め 磁場配位の追求









大規模並列計算に対応させ、プラズマシミュレータ、ヘリオスなどのスーパ ーコンピュータでの利用.

*PFLOPS(1秒間に1,000兆回の演算計算)

核燃焼プラズマ統合シミュレーション



ヘリカルプラズマ:様々な閉じ込め磁場構造



 数値シミュレーションにより、優れた閉じ込め性能・安定性を備えた様々なへ リカル磁場配位が考え出されて来ている。

高エネルギー粒子の輸送現象

14

12

- プラズマ加熱により発生する高エネルギー粒子の輸送現象の解明
- 密度変化を逐次読み込みビーム発生分布を計算し、減衰分布・加熱分布を評価.(核融合研プラズマシミュレータ:4000CPUx6時間x5NBI)



0

2

Δ

6

8

-2

1

-8

-6



LHDにおけるICRF加熱解析

-1.0

3.0

3.5

4.0

4.5

TASK/WM

3.0

3.5

4.0

4.5





• Wave propagation and absorption The amplitude of E_+ is damped at the ion cyclotron resonance layer.



研究室では

- スタッフ:教授 福山淳 准教授 村上定義 研究員 Shabbir A. Khan, 奴賀秀男
 学生構成:D3 1名,D1 1名,M2 1名,M1 4名
- 計算機環境 計算機クラスターやスパコンによる大規模計算
 - 研究室:Intel 4core Xeon 3.16GHz Dual 16台 128CPU
 - 核融合科学研究所: Fujitsu PRIMEPC FX100 (2.58 PFLOPS)
 - 国際核融合エネルギー研究センター: Bull B510 (1.5 PFLOPS)
- 期待する人材
 - 長期的な視野でエネルギー問題の解決を目指す人,
 - 未知の非線形現象の解明に興味のある人,
 - 目的指向の国際共同研究に関心のある人.
 - 核融合・プラズマを知ってみたい人,
 - そんな大学院生を募集しています.

研究テーマの例

- プラズマ中の輸送現象
 - プラズマ中の微視的不安定性の運動論的解析
 - 周辺プラズマの粒子シミュレーション
- 高速イオンとプラズマの相互作用
 - 高速イオンによって励起される不安定性
 - 高速イオンの生成と閉じ込め
- 核燃焼プラズマの統合シミュレーション
 - 波動による加熱・電流駆動・回転制御のシミュレーション
 - ITER 運転シナリオの検討・最適化
- 先進的閉じ込め配位
 - 高β, 高密度, 高閉じ込めの実現
- トーラスプラズマの実験解析
 - LHD、JT-60 および 国際トカマク実験データベースの解析
- プラズマ応用
 - 高周波によるプラズマ生成の解析